

2021年度教育課程編成・実施の方針に照らした教育の取組の適切性に関する検証（CP）

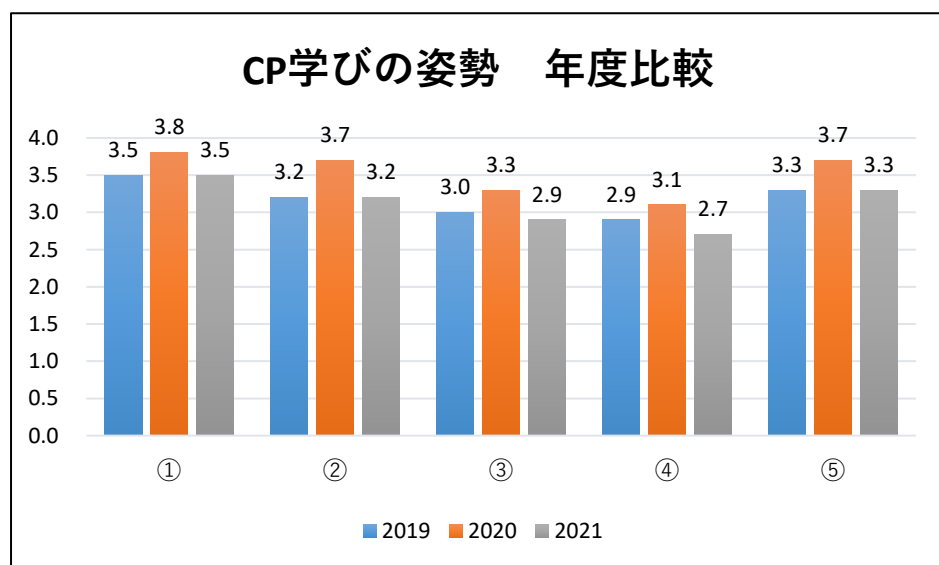
マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの姿勢振り返り（学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針）」のデータを活用した検証です。各学科・研究科専攻の学位授与の方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記のURL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻名 社会福祉学科

カリキュラム・ポリシーに基づき「学びの姿勢振り返り」として、以下に示す5項目について5段階ループリック評価検証を行いました。回答者総数346、1年生214、2年生56、3年生24、4年生52であり、昨年度の回答者総数126から大幅に増加しました。なお、一昨年度の回答者総数は305でした。以下に示す結果（図）は、各項目5段階（1～5点）の平均値の年次比較を示しています。

- ① 学修を通して、他者を尊重する態度を身につけようと努めている
- ② 利用者の多角的理解に努められるような学修をしている
- ③ 現代の福祉環境を多角的・多面的に理解できるような学修をしている
- ④ ライフステージに応じた生活課題の発見と解決が主体的にできるようになるための学修をしている
- ⑤ 自分の将来像を意識した履修コースを選択している



満足度（点数）が低い項目は教育・学修方法等の改善の参考となります。年度比較は、前年度平均値と比較し低いもしくは変化なしの場合は、課題と言えますが、昨年のデータは回答総数がわずか126と少ないため参考にとどめ、一昨年度のデータとの比較を行いました。

【考察】

2021年度は、前年度に引き続きコロナ禍ではありましたが、対面授業の割合が増え小規模の講義や演習クラスは対面実施となりました。そのため、例年通りリエゾンゼミの演習内で自己評価の入力を行うことができ、昨年度よりも大幅に回答率を上げることができました。

項目③と④はそれぞれ、他の項目と比べて2.9、2.7と若干評価が低いですが、全体的に満足度が3点前後にあることから、教育課程編成・実施の方針に照らした教育の取組みは適切に行われていると思われます。③と④の項目をさらに向上させるためには、リエゾンゼミや資格課程の演習等におけるフィールドワークやコロナ禍で活動が制限されているボランティア活動等の実践機会のさらなる充実化が必要と思われます。年次比較については、一昨年度との比較において概ね同様の傾向を示しています。